

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	森本 榮
担当業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学会連合支援担当 1) 理学療法における学術及び科学技術の振興に資する事業 2) 学術・研究普及事業 学術誌発行事業 HP での学術情報提供事業 3) 学会事業 学術大会・研究会等の開催 4) 理学療法科学の発展に寄与する助成事業 等を支援している。 ・ 日本理学療法学会連合理事会 監事として出席 ・ 新組織検討委員会 委員長

内 容			
日 付	他団体	会議名	場所
10月2日(土)		新組織検討委員会	WEB
10月9日(土)		理事会・理事懇談会・組織運営協議会・大規模研究発表会	六本木
10月12日(火)		常任理事会	WEB
10月13日(水)		学会連合支援係会議	WEB
10月14日(木)	○	学会連合理事会	WEB
11月2日(火)		新組織検討委員会選挙制度小委員会	WEB
11月5日(金)		新組織検討委員会士会連携小委員会	WEB
11月10日(水)		学会連合支援係会議	WEB
11月11日(木)	○	学会連合理事会	WEB
11月23日(火)		業務執行理事会・中間監査	六本木
11月30日(火)		常任理事会	WEB
12月4日(土)		理事会・理事懇談会・学会運営協議会	六本木
12月8日(水)		新組織検討委員会士会連携小委員会	WEB
12月8日(水)		学会支援係会議	WEB
12月9日(木)	○	学会連合理事会	WEB
12月20日(月)		新組織検討委員会事務局打ち合わせ	WEB
12月21日(火)		新組織検討委員会選挙制度小委員会	WEB
所感	<p>学会支援係としての学会支援は学会連合と協議を行いながら業務を進行している。学会連合および法人学会・研究会設立後、半年が経過し、法人学会・研究会は理事・監事の追加のための臨時総会開催をはじめ、総務・財務においても自立した運営に向けた整備が着実に行われている。学会・研究会の専門会員Aは、のべ3,896名（12月6日現在）となり、12月の神経をもって日本理学療法学会大会が終了した後は、2022年度に向けた種まきの期間となるであろう。また、初年度終了を迎えるにあたり、監査</p>		

	<p>のための準備も必要である。10月に発行した理学療法ガイドラインは早々に重版がかかり、好評をもって受け入れられているようである。本ガイドライン発行にご尽力いただいた関係者に感謝申し上げたい。</p> <p>新組織検討委員会は選挙制度小委員会と士会連携小委員会に分割し個々の内容に関して、諮問に対し協議を行った。各小委員会にオブザーバーとして出席した。大がかりな組織改革であり、各委員会の報告等を事務局と連携して代議員並びに会員各位に新組織改革の目的意義が理解されるように資料整理を行っている。</p>
<p>報告日</p>	<p>2022年1月20日</p>

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。